

二重の周濠がめぐる県下で三番目に大きい古墳

両宮山古墳



森山古墳(左)と
廻り山古墳(右)

指定区分	国指定史跡
読みかた	りょうぐうざんこふん
所在地	赤磐市穂崎
指定年月日	昭和2年4月8日
解説	<p>砂川中流域に位置する5世紀後半の大型前方後円墳。墳丘長206m、後円部径116m。県内で唯一、水をたたえた周濠(幅約40m前後)が墳丘をめぐっている。さらに発掘調査により、周濠が二重にめぐらされていることが判明した。目立った出土品はなく、埴輪・葺石も確認されていない。周辺には、近親者や従者を葬った陪塚と考えられる和田茶臼山古墳、帆立貝形古墳の森山古墳、廻り山古墳、正免東古墳などの古墳があり、西高月古墳群を形成している。</p>
アクセス方法	宇野バス:「新道・穂崎下」停留所から北へ約200m
公開状況	自由
設備	
備考	岡山県下では造山古墳、作山古墳に次ぐ3位の大きさであり、全国では39位の規模です。

きつずページ



森山古墳(左)と
廻り山古墳(右)

していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	両宮山古墳
よみかた	りょうぐうざんこふん
しょざいち (所在地)	赤磐市穂崎
していたひ (指定した日)	昭和2年4月8日
せつめい	岡山県で3番目(ばんめ)に大きい古墳(こふん)です。古墳のまわりに水がある掘(ほり)をもつのは岡山県ではここだけです。この古墳の近くには他にもたくさんの古墳があります。